

日本産科婦人科学会主催 公開講座

# 市民とともに日本における 子宮頸がん予防(HPV)ワクチンの 今後を考える

参加無料  
要事前申込  
(定員:250名)

2018年

2月3日 土 13:00-16:10

(受付開始 12:30)

日本科学未来館 7階 未来館ホール(東京都江東区青海2-3-6)



#### アクセス

- 新交通ゆりかもめ 「船の科学館駅」下車、徒歩5分/  
「テレコムセンター駅」下車、徒歩4分
- 東京臨海高速鉄道りんかい線 「東京テレポート駅」下車、徒歩15分
- 無料巡回バス「日本科学未来館」下車

日本における子宮頸がん予防の適切な推進のために、市民の皆様、行政やメディア関係者の皆様と医療関係者が、HPVワクチンの今後について考えるための公開講座を日本産科婦人科学会が企画しました。

2017年8月と12月に公表した「HPVワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)接種の積極的勧奨の早期再開を強く求める声明」の内容についてもわかりやすく解説します。

**対象：一般の方、行政関係者、メディア関係者、医療関係者**

#### 【ご協力をお願い】

- ・プログラムの都合上、メディアの方以外の撮影・録音はご遠慮いただいております。
- ・質疑に関しましては、質問記入用紙をお配りいたしますので、そちらにご記入ください。講演中の質問、不規則発言に関しましてはご遠慮いただきますよう、お願い致します。
- ・セミナーの進行を妨害する言動・行為がされた場合は、ご退場いただく場合がございます。

#### 【日本専門医機構の領域講習受講者の方へのご案内】

- ・本公開講座は日本専門医機構の産婦人科領域講習となる予定です。参加された産婦人科医には機構単位を付与します(ただし会場が満席となった場合は受講をお断りさせていただくことがあります)。

**主催：公益社団法人日本産科婦人科学会**

**後援：公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本産婦人科医会  
公益社団法人日本小児科学会、公益社団法人日本婦人科腫瘍学会**

詳細・申込

<http://www.jsog.or.jp/news/html/hpv-sympo2018.html>

お問い合わせ

日本産科婦人科学会主催公開講座事務局  
03-5565-1447 (平日10時~17時)



# プログラム

内容・タイトルは当日変更になる可能性があります。

## 座長

榎本隆之（新潟大学）、井篁一彦（和歌山県立医科大学）

## 開会挨拶

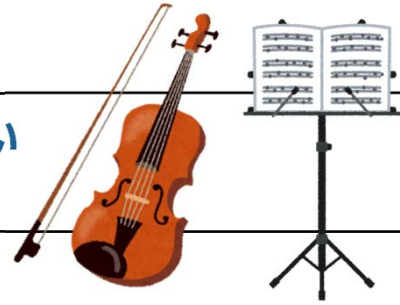
藤井知行（東京大学、日本産科婦人科学会理事長）

## ★来賓挨拶

三原じゅん子（参議院議員）

## ★ミニコンサート 母に捧げる、そして皆さんに伝えたい

横山亜美（ヴァイオリニスト）



## 講演① 子宮頸がん予防とHPVワクチンについて:

宮城悦子（横浜市立大学）

## 講演② がん患者、啓発団体の立場から

難波美智代（一般社団法人シンクパール）

## 講演③ 先進国のHPVワクチンプログラムとその効果

シャロン・ハンリー（北海道大学）

## 講演④ HPVワクチン接種後の多彩な症状を呈する患者さんを診察して

柴田政彦（大阪大学疼痛医学）

## 講演⑤ 子宮頸がんワクチンの安全性評価に関する疫学研究

喜多村祐里（大阪大学環境医学）

## 休憩（10分間）

## 講演⑥ HPVワクチンの有効性に関する報告

山口真奈子（新潟大学）

八木麻未（大阪大学）

伊藤潔（東北大学）

寺田幸弘（秋田大学）

上田豊（大阪大学）

## 講演⑦ HPVワクチンの報道 問題点と課題

小島正美（毎日新聞社）

## 質疑応答

## 閉会挨拶

平川俊夫（日本産婦人科医会常務理事）